

# 宮城県感染症発生動向調査情報(第49週)

宮城県【平成26年12月11日】発行  
宮城県保健環境センター  
TEL (022)257-7228

— 2014.12.1 ~ 12.7 ・ 第49週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							仙 台 市				宮 城 県 (含 む 仙 台 市)			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第46週	第47週	第48週	第49週	
水痘	2 0.40	16 1.60	9 1.80	1 0.50	3 1.00	2 0.40		16 0.62	49 0.84	2,100	◎ →	◎ →	◎ →	○	
流行性耳下腺炎		1 0.10		1 0.50	2 0.67			7 0.27	11 0.19	643	→	→	→		
百日咳											→	→	→		
感染性胃腸炎	26 5.20	40 4.00	14 2.80	24 12.00	10 3.33	23 4.60	22 11.00	224 8.62	383 6.60	16,886	◎ →	◎ →	◎ →	◎	
手足口病		5 0.50		2 1.00		1 0.20	5 2.50	8 0.31	21 0.36	499	○ →	○ →	レ →		
伝染性紅斑	7 1.40	9 0.90	15 3.00		3 1.00	10 2.00	1 0.50	20 0.77	65 1.12	2,588	◎ →	◎ →	◎ →	◎	
突発性発しん	4 0.80	9 0.90	6 1.20	4 2.00	2 0.67		1 0.50	16 0.62	42 0.72	1,885	○ →	○ →	○ →	○	
ヘルパンギーナ											→	→	→		
インフルエンザ	61 7.63	67 4.47	35 4.38	14 4.67	15 3.00	2 0.25	6 1.50	99 2.36	299 3.22	29,359	→	→	○ →	◎	
咽頭結膜熱		3 0.30		3 1.50		2 0.40		14 0.54	22 0.38	680	→	→	→		
流行性角結膜炎		1 0.33				1 1.00		3 0.50	5 0.42	163	→	→	→		
急性出血性結膜炎											→	→	→		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7 1.40	14 1.40	6 1.20	4 2.00		22 4.40	1 0.50	93 3.58	147 2.53	5,611	◎ →	◎ →	◎ →	◎	
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→		
無菌性髄膜炎											→	→	→		
マイコプラズマ肺炎		2 2.00	1 1.00	2 2.00				8 1.60	13 1.08	414	→	→	→		
クラミア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→		
RSウイルス感染症	79 15.80	31 3.10	18 3.60	2 1.00	2 0.67	9 1.80		97 3.73	238 4.10	1,308	◎ →	◎ →	◎ →	◎	
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		4	1	1		6	4	5	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向					
	川崎病									【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 <a href="http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/">http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/</a>					
	不明発疹症														
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※									52					

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

## 定点把握の対象となる5類感染症(全国 第45週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

**インフルエンザ**: 定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は岩手県(6.20)、福島県(2.76)、神奈川県(1.96)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は36例と前週と比較して増加し、19都道府県から報告があった。**RSウイルス感染症**: 報告数は5,151例と2週連続で増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約67%を占めている。**咽頭結膜熱**: 定点当たり報告数は第43週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は北海道(4.45)、岩手県(4.18)、福岡県(4.08)である。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は北海道(4.45)、岩手県(4.18)、福岡県(4.08)である。**感染性胃腸炎**: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は大分県(19.58)、香川県(15.10)、福岡県(14.28)である。**水痘**: 定点当たり報告数は第39週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は山形県(2.57)、長野県(2.11)、新潟県(2.03)である。**手足口病**: 定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は愛媛県(3.32)、沖縄県(3.32)、山形県(2.77)、佐賀県(2.57)である。**百日咳**: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.12)、山形県(0.07)、千葉県(0.05)である。**ヘルパンギーナ**: 定点当たり報告数は第36週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は新潟県(0.64)、大分県(0.36)、宮城県(0.25)である。**マイコプラズマ肺炎**: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は富山県(1.80)、石川県(1.60)、栃木県(1.14)である。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)**: 定点当たり報告数は増加した。5道県から8例報告があり、年齢別では0歳(1例)、1~4歳(5例)、5~9歳(1例)、10代(1例)であった。

\* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。( )内数字: 定点当たり報告数

## 今週の全数報告疾病

1類感染症: 報告なし ※男児、女児は6歳未満  
2類感染症: 結核

塩釜管内	女性2名
気仙沼管内	男性1名
仙台管内	男性2名、女性1名
3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)	
仙台管内	男性1名
腸管出血性大腸菌感染症(O121)	
仙台管内	男性1名
4類感染症: レジオネラ症	
仙南管内	女性1名
5類感染症: クロイツフェルト・ヤコブ病	
仙台管内	男性1名
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	
仙台管内	男性1名
侵袭性肺炎球菌感染症	
仙台管内	男性1名
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	
石巻管内	男性1名

## 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 1例

### 今週の感染症のコメント

#### — 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

【伝染性紅斑】  
仙南、大崎、登米、石巻管内で警報継続中。

### 【病原体検出情報】

#### ～保健環境センター～

インフルエンザ集団発生事例より

登米管内	第49週採取分	インフルエンザウイルスAH3	3件
岩沼管内	第49週採取分	インフルエンザウイルスAH3	5件
感染性胃腸炎患者より			
塩釜管内	第47週採取分	サボウイルス	1件
	第48週採取分	サボウイルス	1件

#### ～仙台医療センターウイルスセンター～

	第47週採取分 (11.17~11.23)	第48週採取分 (11.24~11.30)	第49週採取分 (12.1~12.7)
バラインフルエンザウイルス2型	0件	1件	0件
RSウイルス	4件	8件	4件
アデノウイルス	2件	3件	0件
ライウイルス	1件	0件	0件
単純ヘルペスウイルス	0件	1件	1件
サトメカロウイルス	1件	0件	0件

### 【インフルエンザ】

今シーズンのインフルエンザ患者数は47週以降増加傾向で、集団発生事例の報告も相次いでいる。仙台市および宮城県ではAH3(香港)型が検出されており、これから、本格的な流行が予想されることから注意が必要である。